

薬学部ハワイ語学研修を実施しました！

今年も3月8日から22日までハワイでの海外語学研修を実施しました。学生たちは、ハワイ大学 Outreach College主催の2 Week NICE Programに参加しました。工夫を凝らした授業を毎日受けることで自らの英語力向上につなげることができました、さらにいくつかの薬学部独自のoff campus activityを体験することで、学生たちにとっては充実した2週間になったと思います。以下簡単に全体の流れとこの課外アクティビティーを紹介したいと思います。

日曜日に現地に到着し、翌日の月曜日からハワイ大学での研修がスタートします。初日は全体ガイダンスと緊張のオーラルインタビューです。この結果でクラス分けが行われます。翌日火曜日から本格的に語学研修がスタートしますが、これとは別に午後に薬学部で独自に行っているoff campus activityもスタートします。授業は午前中で、1時間目のスタート時間が8時30分ですが、遅刻することなく毎朝元気に授業へと向かっていました。各クラスの授業内容については学生の報告をご覧ください。



触れたり匂いを嗅いだりしながら説明を受けます

火曜日はLyon Arboretum (ライオン樹木園)のツアーです。主にハワイで伝統的に医療に使用されてきた草木について、広大なLyon Arboretumを回りながら英語で解説してもらいます。病院見学とは違い通訳なしですので、学生たちは四苦八苦しながらもガイドの英語に耳を傾けていました。前日夜に必要と思われる単語を全員で共有していますが、なかなか聞き取るのは難しかったようです。

水曜日には毎年お願いしているハワイ大学医学部の町先生の講演を聞き、今年はたまたま都合が合ったことで町先生が務めているKuakini Medical Centerの見学もさせていただきました。水曜日からオアフ島全土で大雨となりあいにくの天気でしたが、無事に講演と見学を終えることができました。ただ、この大雨のせいで、金曜日には大学での授業ができなくなりzoomに切り替わったり、オアフ島のほぼ全域で停電が発生したりしました。結果的に、その日の午後に予定していた病院見学 (小児の整形外科を専門にしているShriners Children's) をキャンセルせざるを得なくなったのは非常に残念でした。



町先生から病院内で説明を受けているところ

土曜日まで大雨の余波に見舞われ、学生たちが楽しみにしていたKCC ファーマーズ・マーケットも中止になりましたが、なんとか日曜日には天気が回復し、予定していたノースショア方面へのツアーも無事に行くことができました。大雨のせいで行けない場所もありましたが、毎年担当してくれているガイドさんが気転を利かせてくれたおかげで、予定外の場所に行けるなど学生たちも楽しい時間を過ごせたと思います。



当日のスマホに出た警報

日曜日のツアー



冷めてもおいしいPaalaa Kai Bakeryの馬拉サダ！



カカアコ地区の有名なウォールアートの前で

翌週は火曜日には授業の一環としてのフラダンス講習会がありました。フラの歴史や手の動きの意味などを先生が軽妙な語り口で楽しく講義してくれたおかげで、短時間で1曲踊りをマスターことができるようになります。あっという間の時間ですが、異文化を学ぶいい機会となっています。



見学したCoumadin clinicで実際に
血液採取してチェック



左の薬剤師の方から様々な説明を受けます

水曜日にはStraub Medical Centerの見学です。毎年、院内薬局を皮切りに病院内の様々な施設を見学させてもらっています。ICUやBurn Care UnitやCoumadin Clinicなどなかなか普段は目にすることもできない施設ばかりですので、学生たちも大いに勉強になったと思います。

現地でも滅多に降らないというほどの大雨のせいで予定変更を余儀なくされるハプニングがありましたが、ハワイ大学の男子バレーボールの試合を観戦をしたり、ハワイならではのグルメを堪能したり、自分たちで計画していた場所を訪れたり、学生たちは思い思いに2週間を満喫していました。他にも現地の薬局で薬剤師と会話して薬を買う課題も設けてあるため、学生たちにとっては休む暇のないくらいの盛りだくさんの2週間となっています。薬学部在学やこれから科学大学薬学部を志望する学生のみなさんもぜひ参加してみませんか？